

# 「平成25年度 消費生活相談の概要」

岡山市消費生活センター

## 【相談の概要】

(1) 相談件数は3,941件で、24年度(3,101件)から840件(約3割)も増加。

年代別では、若年層(20歳代まで)及び中間層(30～50歳代)からの相談は若干の増加だが、高齢者層(60歳以上)の相談が大幅に増加。60歳以上の相談はついに全体の5割を超える。

(2) 相談内容は、放送・コンテンツ関連の相談(アダルトサイトによるワンクリック請求、出会い系サイト関連のトラブル等)が24年度に続き最多。

(3) トラブルになった金額は約11.6億円と、過去最高だった24年度を若干下回り、同じく一人当たりの平均金額も94万円弱と大幅に減少。

(4) 勧誘手口では、高齢者を狙い、注文していない健康食品などを一方的に送りつける「送りつけ商法」に関する相談が24年度に比べ2倍以上に急増し、断ると「裁判に訴える」「断ると殺すぞ」と脅すなど手口も悪質・凶暴化。

23年度に相談が急増した利殖商法については、24年度に相談件数は減少したものの、25年度は再び急増。一人あたりの被害額(既払い額)は年々増加しており、引き続き注意が必要。

## (1) - 1 相談件数の推移



## (1) - 2 年代別相談件数

年代区分	平成24年度	平成25年度
若年層（～20歳代）	291件	303件（+12件）
中間層（30～50歳代）	1,094件	1,155件（+61件）
高齢者層（60歳～）	1,254件	1,984件（+730件）
不明	462件	499件（+37件）

### (特徴)

- ・高齢者層からの相談が大幅に増加。

特に上半期（4月～9月）に健康食品の送りつけ商法の相談が集中的に寄せられており、全般的に利殖商法の相談が数多く寄せられている。

## (2) 主な相談内容

### ①放送・コンテンツ関係 461件（前年度506件） △45件

→アダルトサイト、出会い系サイトの高額な料金請求に関するトラブルなど

#### 〈事例1〉

中学生の息子がスマートフォンで無料アダルトサイトを閲覧中、年齢確認ボタンをクリックしただけで会員登録となった。高額な請求画面が出たので慌ててしまい削除依頼をクリックしても、送信できず削除できない。これ以上操作することが怖くてできない。（30歳代 女性）

#### 〈事例2〉

パソコンに「総合コンテンツで無料期間中に退会処理できていないため延滞金が発生している至急連絡が必要。放置すると訴訟を行うための身辺調査に入る。和解を希望するなら連絡をして欲しい。」とメールがあった。身に覚えはない。（40歳代 女性）

### ②健康食品 355件（前年度159件） +196件

→注文していない健康食品を一方向的に送りつけるトラブルなど

#### 〈事例1〉

知らない業者から電話が突然かかり、「先に注文を受けていた健康食品3箱を代引きで送る」と言われたので、驚いて断ったところ、「オーダーで作ったのでキャンセルできない。消費生活センターに相談したら賠償金20万円請求する」と大声で言われ怖くなって承諾してしまった。後日商品が届いたがやはり解約したい。（60歳代 女性）

#### 〈事例2〉

自宅に突然業者から電話がかかり、「以前注文を受けた健康食品を代引で送る」と言われた。申し込んだ覚えがないので「送ってきても受け取らない」とはっきりと断ったところ、業者が「クレーン車を持って行って家を壊す」と脅すように言われた。受け取ったほうがいいのだろうか。（80歳代 男性）

### ③利殖商法

270件（前年度105件）+165件

→未公開株や社債などへの詐欺的な投資勧誘など

#### 〈事例1〉

債券を買うと儲かると言われ購入した。最初の3ヶ月は配当金の支払いがきちんとなっていたので信用してしまい、数十回にわたり現金を手渡しして購入していたが、勧誘してきた業者に連絡しても連絡がつかなくなった。また、救済するという業者にも数回にわたり支払ってしまった。（80歳代 女性）

#### 〈事例2〉

仲介業者から「老人ホームの権利を欲しがっている団体があるので名義だけ貸して欲しい。高配当も保証されており、お金も用意するので迷惑は絶対にかけない。報酬も支払う。」と電話があった。どうしたらよいか。

（70歳代 女性）

### （3）契約購入金額

	契約購入金額合計	平均 契約購入金額	契約購入金額が 1千万円以上の件数
平成25年度	11億6,300万円 (6億7,900万円)	94万円 (117万円)	28件※ (14件)
平成24年度	11億9,500万円 (6億6,700万円)	121万円 (169万円)	24件 (12件)

（ ）内の金額・件数は契約当事者が60歳以上のもの

※利殖商法のトラブル、新築住宅の契約トラブルなど

#### （特徴）

- ・トラブルになった金額は約11.6億円と、過去最高だった24年度を若干下回り、同じく一人当たりの平均金額も94万円弱と大幅に減少。健康食品の送りつけ商法に関する相談（トラブル金額：5～8万円）の増加が要因。
- ・高額な契約トラブル件数は24年度を上回っており、引き続き注意が必要。

### （4）勧誘手口

#### ①送りつけ商法※事例は（2）-②の健康食品を参照

#### （送りつけ商法とは）

消費者が注文していないにもかかわらず、商品（健康食品、カニ、仏像など）を一方向的に送りつけ、代金を請求する悪質商法の手口。

	件数
平成25年度	316件
平成24年度	140件

#### （特徴）

- ・契約当事者の約9割が60歳以上（平均年齢75歳）であり、特に高齢者がトラブルに遭いやすい実態がある。
- ・突然商品を送りつけるケースのほか、業者から「以前に注文を受けた健康食品を代引で送る」と電話がかかる事例が増えており、断ると「裁判に訴える」「断ると殺すぞ!」「クレーン車を持って行って家を壊す」と脅すなど手口が悪質・凶暴化。

## ②利殖商法※事例は(2)－③の利殖商法を参照

### (利殖商法とは)

未公開株や社債などへの投資、いわゆる「もうけ話」に関する手口。

23年度から複数の事業者が次々に投資を持ちかける「劇場型」と呼ばれる手口が急増し、一旦、24年度は減少したが、25年度に再び急増している。

	件数	平均契約購入金額 (最高額)	平均既払い額 (最高額)
平成25年度	270件	688万円 (1億4,000万円)	470万円 (1億4,000万円)
平成24年度	105件	354万円 (1,700万円)	405万円 (1,700万円)

### (特徴)

- ・相談件数自体は大幅に増加し、平均既払い額（契約して実際に支払ってしまった額）も増加するなど、特に注意が必要である。